

大田区自立支援協議会だより

編集・発行 大田区自立支援協議会
事務局 大田区福祉部障害福祉課障害者支援担当（計画）
電話 03 (5744) 1700
ファックス 03 (5744) 1592

第4号 平成25年8月

「大田区自立支援協議会」は、障がい者及び障がい児の地域における自立した生活を支援するため、相談支援事業をはじめ、地域の障がい福祉の課題について具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。協議会委員は、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者で構成しています。

● こども部会が目指すもの

こども部会長
編集委員

志村 陽子
古川 祐子

大田区自立支援協議会では当初より『相談支援』を重要視してきましたが、その中で障がい児に関する相談・子育て支援・療育・教育等々について、集中的に取り組む必要性を強く感じていました。今年度より「こども部会」を設置し、そこにある現状の分析や課題抽出により、障がいのあるこども達のよりよい生活や支援について考えていきたいと思っています。（部会長 志村）

教育の現場でも福祉の現場でも、支援を必要とするこどもは年々増加しています。必要な時期に適切な支援を受けることが望まれますが、幼児期の早期支援や学齢期の放課後時間帯の支援等、十分に対応しきれていないのが現状です。幼児期から学齢期、青年期へと、切れ目のない継続的な支援を保障するための相談機能の充実は重要な課題となっています。

また、「見えにくい障がい」と言われる発達障がいをはじめ、目では見えない部分に障がいの特性を抱える児童も多くいます。支援を必要とするこどもたちが豊かに生活していけるよう、地域の方々への理解を深める取り組みも積極的に行っていきたいと思えます。（委員 古川）

● こども部会の設置

障害福祉課長（障害者施設計画担当課長兼務）今岡 正道

平成25年度の自立支援協議会は、新たに「こども部会」を立ち上げ、5つの専門部会を設置してスタートいたしました。

かねてより、他の専門部会の活動を通して児童に関する検討の必要性は感じておりましたが、専門部会が増えることでの委員の皆様へのご負担や事務局体制の課題があり、これまで設置には至っていませんでした。

昨年度、委員の皆様から、こどもの支援についての議論や部会新設を希望するご意見を頂戴し、皆様の強い意向を確認することができました。また、事務局の体制については、関係部局との調整により、事務局を子育て支援課と共同で行うこととしました。これらにより、これまでの他部会での論議を通して抽出された「こども」の時期の地域課題を検討する場を作るべく、部会新設を提案させていただくことができました。

本年度の「こども部会」には、既に様々な立場の委員が所属してくださり、乳幼児期から学齢期、青年期につながる切れ目のない支援の実現に向けての協議を重ねていただいております。また、区側から提起させていただいた、発達障がい者（児）に関する施策検討につきましても忌憚の無いご意見をいただいております。

専門部会が増えたことによる新たな展開を含め、協議会のさらなる発展に期待しております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度 専門部会活動紹介

相談支援部会

相談支援部会では、支援者が支援にあたって困難を感じている事例について、『個別支援会議』（チーム支援と本人中心主義(ケアマネジメント)、その方の変さばかりを見るのではなく、強み(ストレングス)を大切に
する視点による対応の検討や意見交換を行う)を通じ地域課題の抽出と検討を行っています。
『個別支援会議』を通じて明らかになってきた今後の課題としては、相談支援事業所の不足、支援事業所が
変わった際の引継ぎに伴う困難性、移動支援のより柔軟な運用、『個別支援会議』の周知と理解の仕方、
『個別支援会議』を推し進められる人材の育成など、多くの事が挙げられて来ています。また、区全体での相
談支援の構造化を図るためにも、来年度に事業開始となる(仮称)障がい者総合サポートセンターに設置さ
れる基幹相談支援センターの具体的役割を、現在ある相談支援体制との関係の中で随時確認・検討してい
く必要があると考えています。

防災部会

防災部会では、区独自の取り組みであるたすけてねカードと都が普及啓発を進めるヘルプカードを統合し、
より携帯しやすい形を考えています。「あなたの支援が必要です」を伝えるツールとして、広く区民の方にも周
知頂けるよう広報、啓発活動に努めていきます。昨年度に引き続き、総合防災訓練等の参加にも積極的に
取り組み、地域の方や関係機関の理解と連携を深めると共に、要援護者自身の防災への意識向上を目指し
ます。また、区全域が防災活動拠点となるよう学校避難所、福祉避難所の役割の明確化の検討や防災にお
ける地域力の向上を図る学習会等、当部会から継続的に発信していきます。
「小さな気づき」が「大きな気づき」に、「自助」から「共助」に繋がる流れを作り出すことを目指します。

精神障害者の就労支援部会

平成25年度を精神障害者の就労支援部会としての最終年度とし、今後はすべての障がいを対象とした就
労支援部会の設立を目標に活動する、として以下のような活動を予定しています。

- 精神障がい者の就労支援のネットワークを構築する。
- 精神障がい者の職場体験実習を継続し発展させる。
- 当事者の部会への参加をさらに推進する。
- 企業就労だけでなく働き方の具体例を模索する。

部会委員には、当事者をはじめ、多様な形態の事業者が集まり、精神障がい者就労支援分野でのネット
ワークが少しずつ見えてきています。職場体験実習も昨年度以上の広がりを持って実現できるよう準備を進
めています。

地域資源評価開発部会

障がい者が自らが望むまちで自分らしく暮らすため、地域にどのような資源があるのか、どのような支援が必要なのか、を評価し提言するのがこの部会の課題です。

課題は膨大にありますが、それを前提に現在着手しているのが以下の2点です。

1 (仮称)障がい者総合サポートセンター

2 移動支援

1については、運営方法や使い方など、ソフト面での検討が中心になります。総合サポートセンターを有意義なものにしていくための検討を行います。

2については、現状を確認・評価し、仮に不十分な点があれば、その解決策を模索します。

当部会でとりまとめた意見は区に提示し、施策に反映させていただければと考えています。

平成25年度 大田区自立支援協議会 組織図

○役員会議

協議会会長、副会長、各専門部会長が参加。全体会・専門部会のすすめ方等を調整。

○運営会議

部会を問わず、希望者が参加。協議会のあり方、運営方法、各専門部会での検討内容の共有、既存の専門部会に属さない課題等の検討。

○編集会議

各専門部会の編集委員にて構成。「大田区自立支援協議会だより」を作成し、協議会活動の

○委員構成

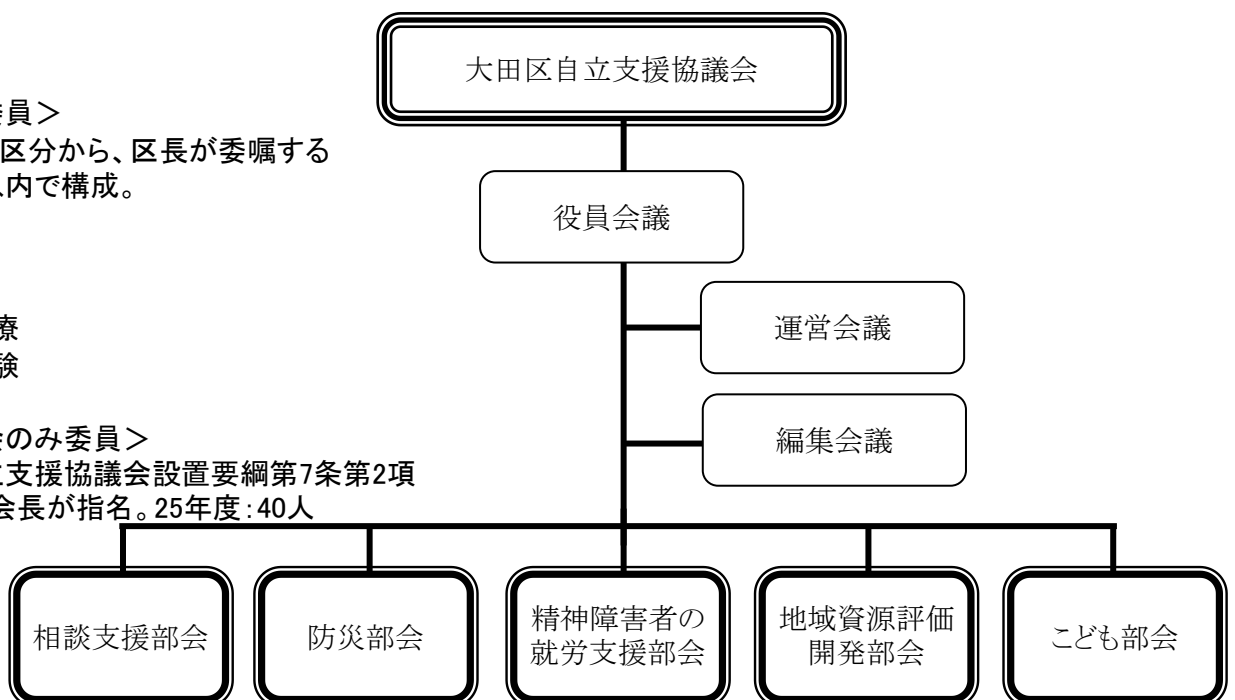
<協議会委員>

次に掲げる区分から、区長が委嘱する委員22人以内で構成。

- (1)地域
- (2)福祉
- (3)保健医療
- (4)学識経験

<専門部会のみ委員>

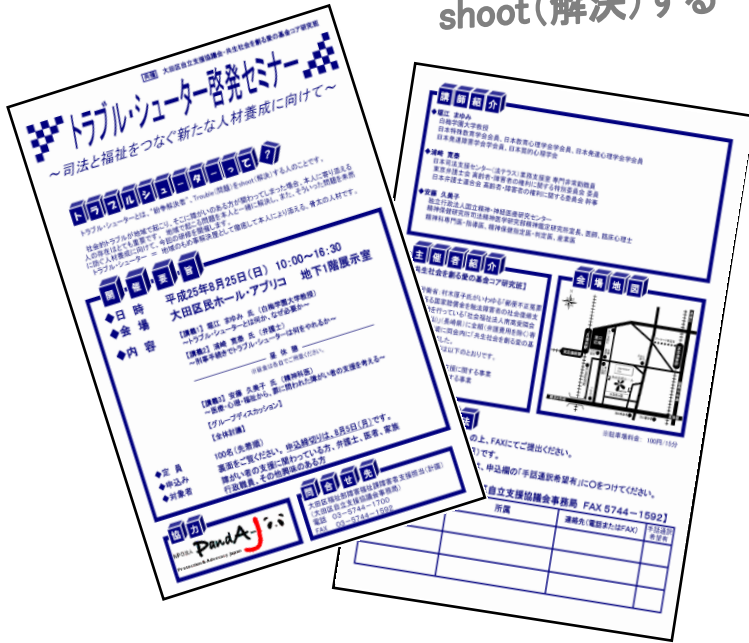
大田区自立支援協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会長が指名。25年度:40人



トラブル・シューター啓発セミナーを開催します！

トラブル・シューター = “紛争解決者”

Trouble(問題)を
shoot(解決)する



～開催～

日時：平成25年8月25日(日)10:00～16:30

会場：大田区民ホール・アプリコ 地下1階展示室

※ 既にセミナーの申し込みは締め切っています

社会的トラブルが地域で起こり、そこに障がいのある方が関わってしまった場合、本人に寄り添える人の存在はとても重要です。地域で起こる問題を本人と一緒に解決し、また、そういった問題を未然に防ぐ人材養成に向けて、「共生社会を創る愛の基金コア研究班」と共催でセミナーを開催することとなりました。全国的に開催されるセミナーで、「トラブル・シューター」について学ぶ基礎コースです。協議会委員だけでなく、障がいの支援に携わっている方はもちろん、弁護士、行政職員などの関係機関に周知をして、受講者を募りました。

★ 大田区自立支援協議会 ホームページ<http://www.city.ota.tokyo.jp/> ★

大田区役所HPトップページ⇒福祉⇒障害者の支援(難病の方への支援も含む)⇒大田区自立支援協議会

大田区自立支援協議会全体会・専門部会の活動報告、

「大田区自立支援協議会だより」バックナンバー、

大田区自立支援協議会設置要綱、

平成24年度大田区自立支援協議会委員名簿 等が閲覧できます。

編集後記～特別編～

今号のたよりでは、各編集委員が一言ずつ思いの丈を綴ってみました！

就労支援部会は精神に特化した活動の最後の年！たよりでもその意気込みをお伝えしたい！（N）

災害があった場合、地域との連携は、不可欠であります。都立特別支援学校では、在校生の受け入れ、福祉避難所としての役割、帰宅困難者の受け入れ等があります。特に、福祉避難所については、受け入れ体制等、明確なものは何一つ決まっています。本部会に参加し、明確なものを作りあげていきたいと思えます。（K）

区内で相談支援を推し進めるための一助になるよう精進していきます！（O）

新しく発足したこども部会、頑張っていきたいと思えます！（H）



↑ 第4回相談支援部会(8月6日開催)の会議風景。部会によって規模・雰囲気は違いますが、どの部会も活発な議論が展開されています。